

授業科目名	卒業研究	担当教員	看護学科全教員 科目責任者：教授 福間美紀		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
授業の目的（概要） 3年次の「看護研究方法論」で習得した知識と技術を活用して、担当教員の指導・助言を受けながら、主体的に研究に取り組む。自己の看護への関心や探究心を研究への動機として、十分な文献検討を経て研究テーマと研究目的を設定する。目的を達成するための具体的で、且つ無理のない実現可能な研究計画を立てて実行する。成果を発表し、集録集にまとめる。 この看護研究のプロセスを主体的に辿る経験をとおして、科学的・論理的思考力を養うとともに、看護専門職として生涯にわたって看護を探究していく研究的態度や創造力、自律的態度を培う。					
学修成果（到達目標） 1. 自己の研究動機に基づいて文献検討を行い、関心領域の知見を整理して、研究テーマを導出できる。 2. 研究の目的を明確に位置づけ、目的の解明のための具体的且つ論理的・一貫性のある研究計画を立案する。 3. 研究の実施に当たっては、「看護研究倫理指針」に基づいて適切に倫理的配慮を実行することができる。 4. 適切な方法を用いてデータの分析を行うことができる。 5. 目的・方法・結果・考察の形式で構成された、論理的・一貫性のある発表ができる。 6. 発表会での批判を吟味して、所定の書式を用いて論文形式の報告書(A4版：2枚)にまとめることができる。					
キーワード 看護研究、倫理審査、研究発表、論文作成					
授業の進め方 小グループごとに担当教員の指導を受けながら、演習形式で進める。 発表会は学会の口演方式で行う。 ただし、事前に対面授業に参加できない学生については理由等を科目責任者に連絡後ライブ配信で参加できるように準備する。 島根大学行動指針のフェーズが2以上になった場合はオンラインに切り替える。					
成績評価の方法（合否基準） 学修成果の達成状況から総合的に評価し、100点満点に換算する。60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 教科書 参考書					
オフィスアワー 福間美紀(基礎看護学講座) 質問等随時 E-mail: mk8592@med.shimane-u.ac.jp					
モデル・コア・カリキュラムとの関連 A-2-1) 学修の在り方 A-3-1) 課題対応能力 A-8-1) 看護学における研究の必要性・意義 A-9-1) 自己研鑽の必要性と方法 A-9-2) 看護学の専門性の発展 B-3-2)-(1) 倫理規範と実践 G-1 看護研究における倫理 G-2-1) 看護実践の探究 G-2-2) 研究成果の活用の方法 G-2-3) 研究活動の実践					
準備学修に必要な学修の時間 各講義の中で指示します。					

授業計画

回 (目安)	日程	テーマ	学習進行の目安	運 営
1	2/1	第1回オリエンテーション ・研究テーマ・概要調査票について	研究的関心の自問と整理	教員指導体制の検討
2	2/26			中旬:教員配属の検討と決定
3	4/1	第2回オリエンテーション 指導教員配属の提示 倫理申請のアナウンス	※教員配属発表後1週間以内 ・ゼミ・指導日程の調整	
4		研究テーマの焦点化	・研究テーマ、キーワードの確認 ※老年看護学実習Ⅱのインターバル ・文献収集及びクリティーク	・附属病院看護部へ研究協力の依頼
5-13	5月		※在宅看護学実習のインターバル ・文献収集及びクリティーク ・研究テーマの絞り込み	・卒業研究発表等要領案の作成 ・附属病院及び学外協力施設の研究実施 フィールドの学科内調整 (5月中旬:moodle上に調整表の掲示)
	6月	研究計画立案	※地域看護学実習Ⅰのインターバル ・研究テーマの決定 ・研究デザインの決定 ・具体的な研究計画の立案	
14		倫理審査受審	研究倫理審査申請 第1回(6/7) 第2回(6/21) 第3回(7/5) 第4回(7/19) 第5回(8/2) 第6回(8/20)	
15-25		研究の実施, 分析, 結果のまとめ	※地域看護学実習Ⅰのインターバル ・研究の実施 ・研究対象の抽出 ・研究の依頼 ・日程調整 ・調査票配布、インタビュー等 ・データの回収 ・データ入力、逐語録の作成	座長のスケジュール調整案提示
26	10月	まとめと考察 発表準備	結果の解釈 考察 抄録作成 1日:第3回オリエンテーション (発表会の運営、原稿作成等) 18日(月)正午 :プログラム用演題名提出 (moodle上)	・卒業研究発表等要領の印刷、教員への配布 ・試写日程調整 18・19日(月・火)プログラム演題編集 20日(水)プログラム印刷 21日(木)プログラム封筒詰め 22日(金)プログラム発送
	11月	発表準備 卒業研究発表	抄録作成、PPT作成 10日(水)正午:抄録原稿提出 (moodle上) 25日(木)終日:卒業研究発表会	10・11日(水・木)抄録原稿編集 12日(金)抄録印刷発注⇒校正1回 19日(金)納品⇒仕分け 23日(火)学内配布 24日(水)会場準備
	12月	論文作成	1日(水)正午:集録原稿提出 (moodle上)	1・2・3日(水・木・金)集録集編集 6日(月)集録集印刷発注⇒校正1回 年内:納品 下旬:成績の取りまとめ⇒提出 実習web・アンケートによる科目の総括
	1月			上旬:集録集仕分け⇒封筒詰め ⇒配布、発送

備考

- * 島根大学行動指針のフェーズが2以上になった場合はオンラインに切り替える。
- * 学習進行表は、無理なくゴール達成するためのあくまでも目安である。
- * 卒業研究は、実習、国家試験勉強、就職試験、進学試験等、個々人の重要な課題と併行しながら進めなければならないので、時期によって集中すべき課題を見極め、頭を切り替えながら、時間を合理的に使って着実に取り組むこと。
- * 年度初め、及び、節目節目に教員-学生間で日程を調整し、平均して週1コマ程度のゼミまたは個別指導の時間を設定して計画的に進めること。
- * 人を対象とした研究を行う場合には、研究の実施に先立ち、看護学科卒業研究倫理審査を受けることを原則とする。